

# iPhone 路面診断

## NTTデータ系 自治体・新興国向け

NTTデータグループで土木関連ソフト開発のJIPテクノサイエンス(東京・中央)は米アップルのスマートフォン「iPhone(アイフ

ォーン)」で道路の路面状況を診断できるシステムを開発した。自動車のダッシュボードにiPhoneを置くだけで道路の荒れ具合を数値化できる。国や自治体のほか新興国向けに販売する。

開発した「ビムス」はiPhoneが内蔵しているセンサーを活用し、路面の凸凹を3次元で計測するアプリ(応用ソフト)。位置情報を記録したり走行中の動画を収め

たりすることもできる。

集めたデータは東大などと共同で開発したパソコンソフトで分析する。国際的な舗装評価指標に従い、路面の荒れ具合を段階的に示せる。別の地図ソフトと組み合わせると、荒れ具合が一目でわかるため、整備の手順が決めやすくなる。

日本では市町村や高速

道路管理事業者などに販売する。国際協力機構(JICA)などを通じ、未舗装道路の多いケニアやタンザニア、キルギスなどにも販売する。価格はアプリが1000円。分析ソフトは国内向けが60万円、海外向けが20万円。月内に販売を始め、3年間で100件の受注を目指す。